

日本の産業革命

今日の問い

日本の産業革命はどのように進み、人々の生活にどのような影響をあたえたのだろう。

左の問いに答えるつもりで、右のノートの下線に語句を書こう。最後に「まとめ」で今日の問いに答えよう。

問い・キーワード

ノート 下線に語句を書こう

1 日本の産業革命はどのように進んだか。

軽工業 → 八幡製鉄所 → 重工業

1880年代から、¹ 紡績 や ² 製糸 などの軽工業を中心に ³ 産業革命 が進んだ。製糸業がつくる ⁴ 生糸 は最大の輸出品となった。日清戦争の賠償金の一部も使って官営の ⁵ 八幡製鉄所 がつくられ、1901年に操業を始めた。三井・三菱などの ⁶ 財閥 は多くの業種に進出した。

2 産業の発展は人々にどんな影響をもたらしたか。

労働者の生活・公害・農村

工場では、農村から来た若い女性が低い賃金で長い時間働いた。1911年に ⁷ 工場法 が定められたが、内容は不十分だった。栃木県の ⁸ 足尾銅山鉱毒事件 では、衆議院議員の ⁹ 田中正造 が被害を受けた人々の救済を訴えた。農村では土地を手放して小作人になる農民が増え、¹⁰ 寄生地主 との差が広がった。

年表 — この単元のできごと

1897

綿糸の輸出量が輸入量を上回る

1901

八幡製鉄所が操業を始める

1911

工場法が定められる

まとめ

今日の問いに答えよう。「八幡製鉄所」「工場法」の2語を使って、2文で書きなさい。

(例) 軽工業に続いて、1901年に操業を始めた八幡製鉄所などにより重工業も発達した。一方で工場で働く人々は低い賃金と長時間の労働に苦しみ、1911年に工場法が定められた。

